

BWC4000用映像管理ソフトウェア Back-End クライアント ユーザーマニュアル

Rev.1.0

2024年4月25日 i-PRO株式会社

### 目次

- 1. はじめに
- 2. Back-Endクライアントを開始する・終了する
- 3. 録画映像を見る
  - 3-1. 簡易検索で見る
  - 3-2. 詳細検索で見る
  - 3-3. ショートカット検索で見る
  - 3-4. 映像が偽造されていないか確認する
- 4. 検索結果を保存する
- 5. 録画映像の情報を確認する
  - 5-1. 情報を表示する
  - 5-2. 情報を編集する
  - 5-3. ケースファイルと録画映像を関連付ける
  - 5-4. 操作権限を表示する
- 6. 録画映像を編集する
  - 6-1. 映像から切り抜き映像を作成する
  - 6-2. 切り抜きした映像を見る
  - 6-3. 切り抜きした映像を保存する
  - 6-4. 切り抜きした映像を削除する

- 7. 録画映像を保存する
  - 7-1. MP4形式で保存する
  - 7-2. 再生用アプリと合わせて保存する
  - 7-3. アーカイブに保存する
- 8. 録画映像を削除する
  - 8-1. Back-Endサーバー内の映像を削除する
  - 8-2. アーカイブ内の映像を削除する
- 9. Back-Endサーバーにデータを登録する
- 10. 操作履歴を表示する
- 11. 接続したBWCに使用者情報を設定する
  - 11-1. 使用者情報を設定する
  - 11-2. 使用者情報のQRコードを作成する
- 12. 用語一覧

### 1. はじめに

BWC4000用映像管理ソフトウェアは、ウェアラブルカメラで録画した映像の自動アップロード、検索、再生等を行うソフトウェアです。 Back-Endサーバー、Back-Endアドミニストレーター、Back-Endクライアントの3つのアプリケーションで構成されます。



### 【重要】

本システム(Back-Endサーバー、Back-Endアドミニストレーター、Back-EndクライアントおよびBWC)はインターネット接続のないクローズド環境内で運用するようにしてください。



### 1. はじめに

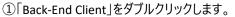
Back-End クライアントは、Back-Endサーバーにある録画映像の操作や管理、BWCの設定をするためのアプリケーションです。 以下のシステム環境を持つPCで使用できます。

OS	Microsoft® Windows® 10 Pro (32ビット /64ビット)日本語版 Microsoft® Windows® 11 日本語版						
CPU	Intel® Core™ i7-8700 以上						
メモリー	16GB以上						
インタフェース	1000Base-T						
ディスプレイ	1024×768以上の解像度						



### 2. Back-Endクライアントを開始する・終了する

#### <開始する>





②ユーザーID・パスワード・Back-Endサーバーを入力し、「ログイン」ボタンを押下します。



Back-Endクライアントが起動します。

起動後、自動で「デフォルト検索条件」による検索が行われ、検索結果が表示されます。

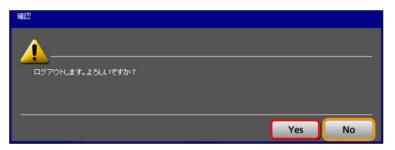


#### 【注意点】

・「Back-Endクライアント」を 複数起動することはできません。

#### <終了する>

- ①閉じるボタン(画面右上の図ボタン)を押下します。
- ②終了確認画面が表示されるので、「Yes」ボタンを押下します。



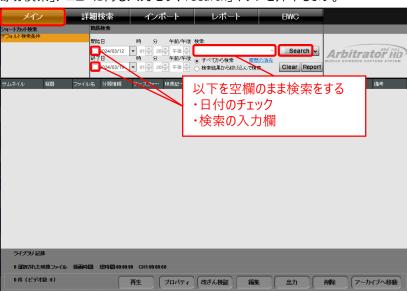


### 3-1. 簡易検索で見る

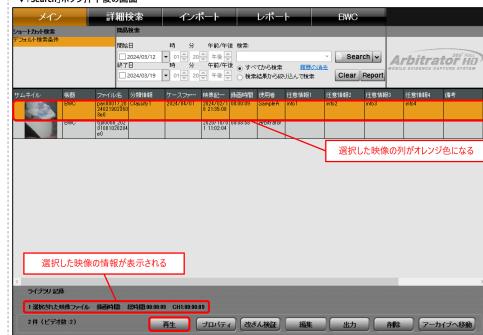
Back-Endサーバーにある録画映像を検索し、録画映像を見ることができます。

#### <全検索指定で見る>

- ①「メイン」タブを選択します。
- ②「簡易検索」メニューに何も入力せず、「Search」ボタンを押下します。



- ③ Back-Endサーバーにある全ての映像が表示されるので、再生する映像を選択します。
- ④「再生」ボタンを押下します。AVビューワーが起動します。
- ▼「Search」ボタン押下後の画面





#### <日時指定検索・検索ワード指定検索で見る>

- ①「メイン」タブを選択します。
- ②日時を指定する場合、「簡易検索」メニューの開始日・終了日にチェックを入れ、日時を選択します。
- ③検索のキーワードを指定する場合、「簡易検索」メニューの「V」ボタン(「Search」ボタンの右)を押下します。



④検索種別の一覧が表示されます。該当するものを選択します。 デフォルトは「全検索」が選択されています。

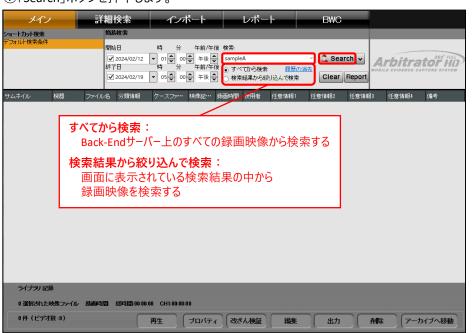


#### ▼「使用者 |を選択した場合

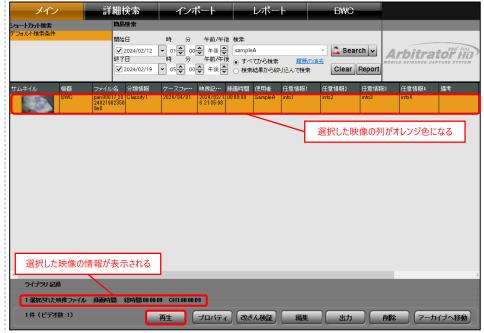




- ⑤ 「簡易検索」メニューの検索に任意のキーワードを入力します。
- ⑥「すべてから検索 | 又は「検索結果から絞り込んで検索 | にチェックを入れます。
- ⑦「Search」ボタンを押下します。



- ⑧ 検索結果が表示されるので、再生する映像を選択します。
- ⑨「再生」ボタンを押下します。AVビューワーが起動します。





### 3-2. 詳細検索で見る

- ①「メイン」タブを選択し、「詳細検索」タブを選択します。
- ②詳細検索画面が表示され、「プロパティ」メニューから、検索するプロパティを選択します。



- ③選択したプロパティごとに入力欄が表示されるので、任意の検索条件を入力します。
- ④「追加」ボタンを押下します。画面下部の検索条件一覧に検索条件が追加されます。 複数の検索条件がある場合は、再度②③の手順を行います。



▼例1:「使用者」を検索する



▼例2:「記録開始日付」を検索する

ロバティ		ショートカット検索名	
なし 機器	^		v
記録開始日付 記録開始時刻 使用者 ブックマークメモ 任意情報!		目付  ☑ 2024/02/01  ▼ □ ☑ 2024/03/01  未入力検索	٧

▼例3:「記録開始時刻」を検索する



#### 検索条件の削除:

削除する検索条件を選択し、 「削除」ボタンを押下する 全て削除の場合、 「すべて削除」ボタンを押下する 以下の条件にチェックを入れると有効になる 完全一致:

入力した「キーワード」と一字一句同じものを検索

英大文字、英小文字を区別する:

入力した「キーワード」の英大文字・英小文字を別の文字とみなし検索

#### 全角、半角を区別する:

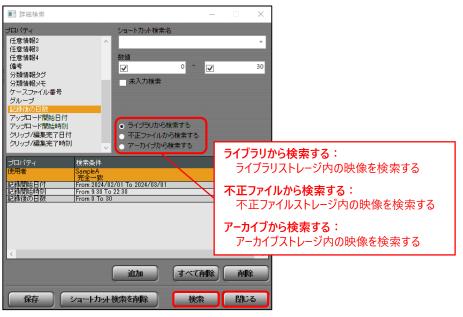
入力した「キーワード」の全角文字・半角文字を別の文字とみなし検索

未入力検索:

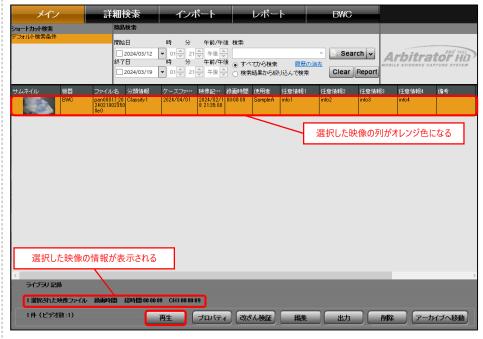
入力した「キーワード」に関係なく、未入力のものを検索



- ⑤「ライブラリから検索する」又は「不正ファイルから検索する」又は「アーカイブから検索する」にチェックを入れます。
- ⑥「検索」ボタンを押下します。
- ⑦詳細検索画面後ろにて検索結果が表示されるので、「閉じる」ボタンを押下します。



- ⑧再生する映像を選択します。
- ⑨「再生」ボタンを押下します。AVビューワーが起動します。





### 3-3. ショートカット検索で見る

任意のショートカット検索を作成することができます。

#### <ショートカット検索を作成する>

- ①検索条件を追加します。(追加方法は「3-2.詳細検索で見る」の①~⑤を参照)
- ②「保存」ボタンを押下します。ショートカット検索名入力画面が表示されます。
- ③「新しいショートカット検索名」を入力し「OK」ボタンを押下します。



#### <ショートカット検索する>

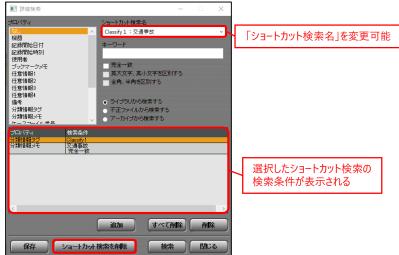
- ①「メイン」タブにて、「ショートカット検索」メニューの任意のショートカット検索名を ダブルクリックします。
- ②検索結果が表示されるので、再生する映像を選択します。
- ③「再生」ボタンを押下します。AVビューワーが起動します。





#### <作成したショートカット検索を削除する>

- ①「ショートカット検索名」に削除するショートカット検索名を選択します。
- ②「ショートカット検索を削除」ボタンを押下します。

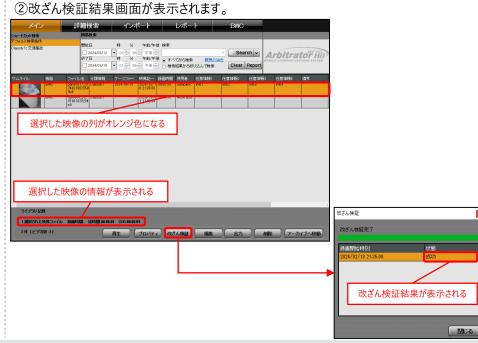


③削除確認画面が表示されるので、「Yes」ボタンを押下します。 選択したショートカット検索の 削除を完了します。



### 3-4. 映像が偽造されていないか確認する

①映像を選択し、「改ざん検証」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)





## 4. 検索結果を保存する

簡易検索・詳細検索・ショートカット検索にて検索した結果をCSVファイル形式でPCの任意の場所に保存します。

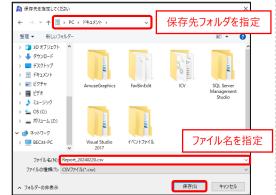
①検索を行い、検索結果を表示し、簡易検索メニューの「Report」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



②ファイル保存画面が表示されます。 ファイルの保存場所を指定、 ファイル名を入力し、 「保存」ボタンを押下します。 PC内の指定した保存場所に ファイルが作成されます。

ファイル名・ファイルの種類はデフォルトで以下に設定されています。

ファイル名:「Report\_(日付).csv」 ファイルの種類:「CSVファイル(\*.csv)」



③出力情報画面が表示されるので、「OK」ボタンを押下します。 検索結果の保存を完了します。



#### ▼「Microsoft Excel」で保存したCSVファイルを開いた場合

4	Α	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	М	N	
1	機器	ファイル名	分類情報	ケースファイル番号	映像記録開始日時	録画時間	使用者	任意情報1	任意情報2	任意情報3	任意情報4	備考	アップロード開始日時	編集	
2	BWC	pan00017_20240219023508e0			2024/2/18 21:35	0:00:09	SampleA	info1	info2	info3	info4		2024/3/19 13:06	1	
3	BWC	tjj00066_20201001020204e0	Classify1		2020/10/1 11:02	0:08:58							2024/3/19 13:05		

- 以下の録画映像の情報(検索結果画面にて表示されている情報)が保存されます。
- ・機器 ・ファイル名 ・分類情報 ・ケースファイル番号 ・映像記録開始日時
- ・録画時間 ・使用者 ・任意情報1~4 ・備考 ・アップロード開始日時 ・編集

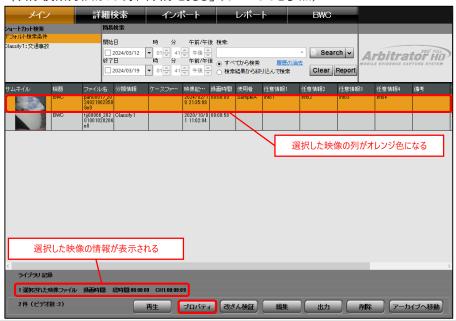


## 5. 録画映像の情報を確認する

### 5-1. 情報を表示する

録画映像の詳細情報を表示することができます。

①情報を表示する映像を選択し、「プロパティ」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



②プロパティ画面が表示されます。 タブを選択することで、表示する情報を切り替えます。





### 5.録画映像の情報を確認する

### 5-2. 情報を編集する

「使用者」、「任意情報1~4」、「備考」、「分類情報」を編集することができます。

- ①プロパティ画面の「詳細」タブを選択し、任意の情報を編集します。 (プロパティ画面の表示方法は「5-1.情報を表示する」を参照)
- ②分類情報を編集する場合、「分類情報」の「編集」ボタンを押下します。 分類情報タグ選択画面が表示されます。



- 1)分類情報を追加する場合、 「所属外」メニュー内の分類情報を選択し、「>>」ボタンを押下します。 分類情報を外す場合、「所属」メニュー内の分類情報を選択し、 「<< |ボタンを押下します。
- 2) 分類情報に情報を記入する場合、「所属」メニュー内の分類情報を選択し、 「所属分類情報タグのメモ」に任意の情報を入力します。
- 3) 「OK」ボタンを押下します。プロパティ画面に戻ります。

#### ▼分類情報を登録する場合







### 5.録画映像の情報を確認する

③「適用」ボタンを押下します。

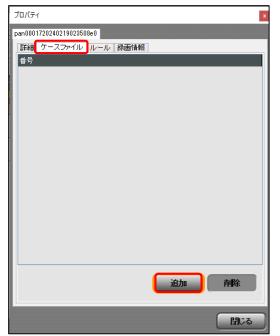


④更新確認画面が表示されるので、「Yes」ボタンを押下します。 情報の更新が完了します。



### 5-3. ケースファイルと録画映像を関連付ける

①プロパティ画面の「ケースファイル」タブを選択し、「追加」ボタンを押下します。 (プロパティ画面の表示方法は「5-1.情報を表示する」を参照)

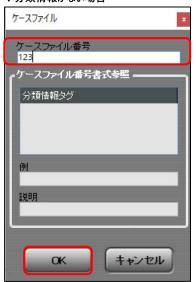




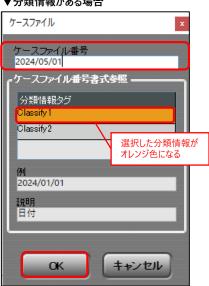
## 5. 録画映像の情報を確認する

- ②ケースファイル画面が表示され、任意のケースファイル番号を入力します。 分類情報がある場合、分類情報タグを選択し、ケースファイル番号を入力します。 分類情報タグに入力規則がある場合、「ケースファイル番号書式参照」メニューの 「例」、「説明」を参考に「ケースファイル番号」を入力することができます。
- ③「OK |ボタンを押下します。ケースファイル番号の登録を完了します。

#### ▼分類情報がない場合



#### ▼分類情報がある場合



#### <ケースファイルと録画映像の関連付けを削除する>

- ①プロパティ画面の「ケースファイル |タブを選択し、削除するケースファイル番号を選択します。 (プロパティ画面の表示方法は「5-1.情報を表示する」を参照)
- ②「削除」ボタンを押下します。 プロハティ



③削除確認画面が表示されるので、 「Yes」ボタンを押下します。 ケースファイル番号の削除を 完了します。





## 5. 録画映像の情報を確認する

### 5-4. 操作権限を表示する

録画映像に対する操作権限を表示します。

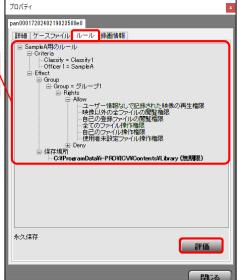
①プロパティ画面の「ルール」タブを選択し、ルール一覧が表示します。 操作権限一覧を表示する場合、「評価」ボタンを押下します。 (プロパティ画面の表示方法は「5-1.情報を表示する」を参照)

例: 分類情報[Classify1]・使用者[SampleA]の 情報を持つ映像はグループ[グループ1]に所属する ユーザーに対して以下の操作権限を設定

一覧最上部にルール名が表示される

Criteria:操作権限の条件

Effect :操作権限・保存期間・保存場所が表示される



②ルール評価画面が表示され、ユーザーごとに操作権限一覧を確認することができます。



#### 【注意点】

・ルールの作成は

「Back-Endアドミニストレーター」で行います。



### 6-1. 映像から切り抜き映像を作成する

録画映像の任意の場面・音声を切り抜き、映像を作成することができます。

①編集する映像を選択後、「編集」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る | の3-1~3-3を参照)



②編集画面が表示されます。



映像は以下の再生操作ができます。

:映像を再生する

・映像を止める

: 7秒前の位置から再生する

(I ×1/2 I) ×1/2 I)

スロー逆再生/スロー再生する ボタンを押下する度に再生速度が

×1/2、×1/4と変化します。

₩ x2 🔛

早戻し再生/早送り再生する ボタンを押下する度に再生速度が

×2、×4、×20と変化します。



③切り抜く場面の開始時間を指定し、「始点」ボタンを押下します。



④切り抜く場面の終了時間を指定し、「終点」ボタンを押下します。



#### 【注意点】

・切り抜き映像の開始時間と終了時間の間隔は3秒以上必要です。





- ⑤音声ありに設定する場合は、以下の操作が必要です。
  - 1) 「音声視聴 |メニューの「音声ミュート |ボタンを押下します。
  - 2)「音声生成チャンネル」メニューの「1」にチェックを入れます。 設定しない場合は音声なしになります。
- ⑥音声のみを切り抜く場合は、⑤の音声ありに設定後 「音声のみ」にチェックを入れます。

#### ▼音声のみの場合



- ▼音声ありの場合 : (-
- 音声視聴
  (1)
  1
  音声生成チャンネル
  L/Rモード
  フ1
- ⑦切り抜き映像に情報を表示する場合は、「オーバーレイOSD設定」メニューの タグの中から表示する情報にチェックを入れます。
- ⑧「クリップ」ボタンを押下します。 「出力設定」メニューに作成した切り抜き映像の情報が表示されます。



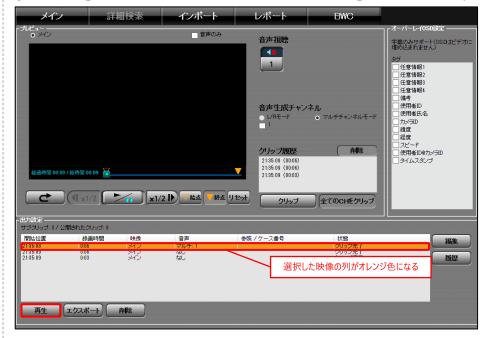


### 6-2. 切り抜きした映像を見る

①切り抜き映像を持つ映像を選択し、「編集」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



②「出力設定」メニューから再生する切り抜き映像を選択し、「再生」ボタンを押下します。





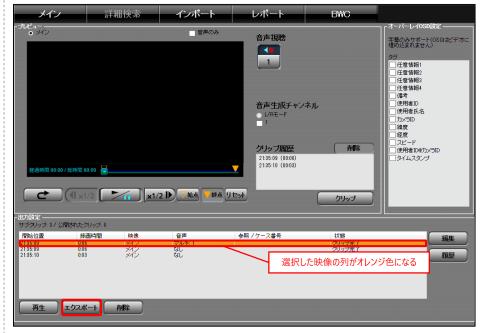
### 6-3. 切り抜きした映像を保存する

作成した切り抜き映像をPCの任意の場所に保存することができます。

①切り抜き映像を持つ映像を選択し、「編集」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



②「出力設定」メニューから保存する切り抜き映像を選択し、「エクスポート」ボタンを押下します。





③MP4 Viewerが起動し、映像が表示されます。



映像は、以下の再生操作ができます。



:映像を再生する



: コマ戻し/コマ送り再生する 映像を1コマずつ再生する



:映像を止める



:映像を全画面に表示する



:7秒前の位置から再生する



:全画面表示中、全画面表示を終了する



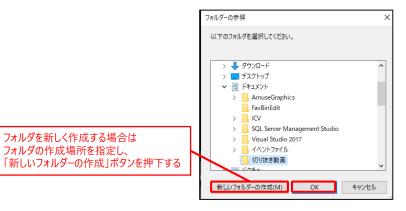
:映像に情報を表示する



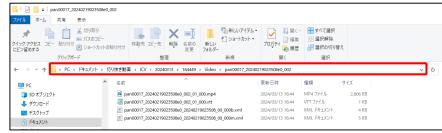
:情報を表示中、映像に情報を非表示にする



③フォルダの参照画面が表示されます。 映像の保存場所を指定し、「OK」ボタンを押下します。



保存後、PC内の指定した保存場所に「ICV」フォルダが作成され、 保存した映像は保存した日時ごとにフォルダが分けられます。



ファイルの種類は以下に設定されています。

映像ファイルの種類:「MP4ファイル(.mp4)」 音声ファイルの種類:「M4Aファイル(.m4a)」 字幕ファイルの種類:「VTTファイル(.vtt)」

#### 【注意点】

- ・音声ファイルは「6-1. 映像から切り抜き映像を作成する」の⑥で設定した音声のみを切り抜いたファイルになります。
- ・字幕ファイルは「6-1. 映像から切り抜き映像を作成する」の⑦で設定した映像に情報を表示するためのファイルになります。 表示するには、VTTファイルに対応したビデオプレーヤーソフトが必要です。

### 6-4. 切り抜きした映像を削除する

切り抜き映像をBack-Endサーバー上から削除します。

①切り抜き映像を持つ映像を選択し、「編集」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



②「出力設定」メニューから削除する切り抜き映像を選択し、「削除」ボタンを押下します。



③削除確認画面が表示されるので、「Yes」ボタンを押下します。 切り抜き映像が削除されます。

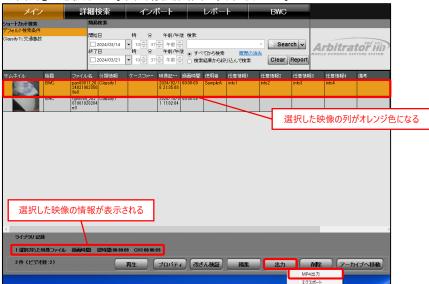




### 7-1. MP4形式で保存する

録画映像をPCの任意の場所に1つのMP4ファイル形式に変換し、保存します。 保存した録画映像は揺れ補正、ノイズリダクションの使用をできません。

- ①保存する映像を選択し、「出力」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)
- ②「MP4出力」を選択します。出力設定画面が表示されます。



- ③録画映像の音声をなしに設定する場合は、「メイン」の「音声1」のチェックを外します。 設定しない場合は音声ありになります。
- ④録画映像の音声のみを保存する場合は、「音声 |の「音声1 |のチェックを入れます。

#### ▼音声あり設定



#### ▼音声なし設定



#### ▼音声のみ設定





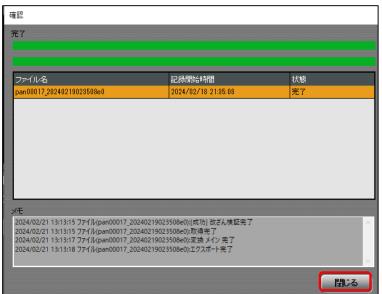
- ⑤保存する映像に情報を表示する場合は、「オーバーレイOSD設定」メニューの タグの中から表示する情報にチェックを入れます。
- ⑥保存場所を指定する場合、「出力設定」メニューの「参照」ボタンを押下します。 デフォルトの保存場所は「デスクトップ」になります。



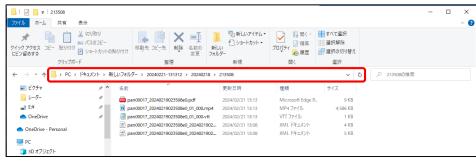




⑨変換結果画面が表示されます。「閉じる」ボタンを押下します。保存を完了します。



保存後は、PC内の指定した保存場所にフォルダ名「保存日時」のフォルダが作成されます。 さらに「録画日時」ごとにフォルダが分けられます。



ファイルの種類は以下に設定されています。

映像ファイルの種類:「MP4ファイル(.mp4)」 音声ファイルの種類:「M4Aファイル(.m4a)」

字幕ファイルの種類:「VTTファイル(.vtt)」

#### 【注意点】

- ・音声ファイルは「7-1. MP4形式で保存する」の④で設定した音声のみを 切り抜いたファイルになります。
- ・字幕ファイルは「7-1. MP4形式で保存する」の⑤で設定した映像に 情報を表示するためのファイルになります。 表示するには、VTTファイルに対応したビデオプレーヤーソフトが必要です。



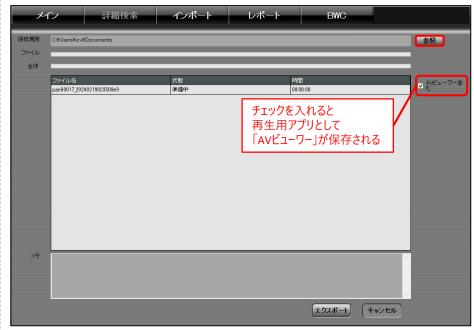
### 7-2. 再生用アプリと合わせて保存する

再生用のアプリケーションと録画映像を10分ごとに分割したMP4ファイル形式のまま、PCの任意の場所に保存します。

- ①保存する映像を選択し、「出力」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)
- ②「エクスポート」を選択します。出力設定画面が表示されます。

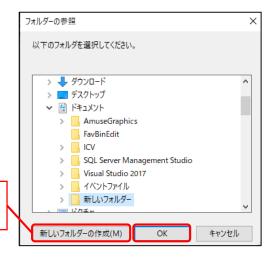


- ③「AVビューワー含む」にチェックを入れます。
- ④保存場所を指定する場合、「参照」ボタンを押下します。 デフォルトの保存場所は「ドキュメント」になります。

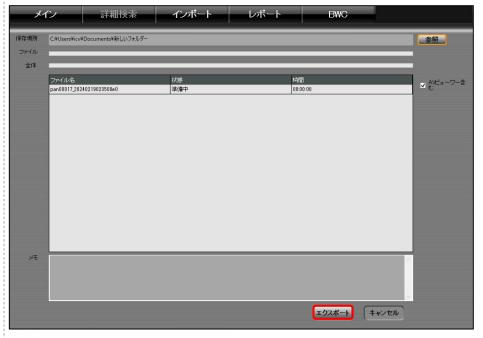




⑤映像の保存場所を指定し、「OK」ボタンを押下します。



⑥「エクスポート」ボタンを押下します。



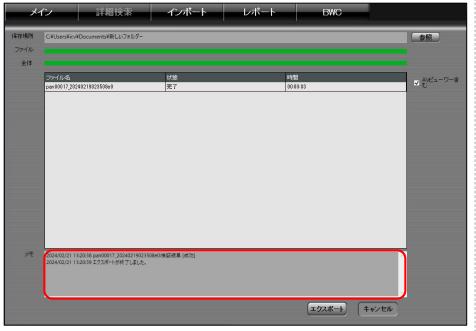


フォルダを新しく作成する場合は

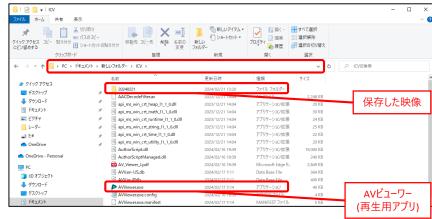
「新しいフォルダーの作成」ボタンを押下する

フォルダの作成場所を指定し、

⑦「メモ」に、エクスポート結果が表示されます。



保存後、PC内の指定した保存場所に「ICV」フォルダが作成され、 保存した映像は保存した日時ごとにフォルダが分けられます。



#### 【注意点】

・再生用アプリ「AVビューワー」の使用方法は 「AVビューワー\_ユーザーマニュアル」を参照してください。



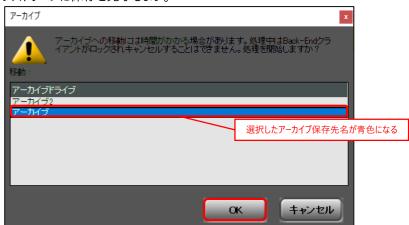
### 7-3. アーカイブに保存する

録画映像をアーカイブストレージに保存することができます。 アーカイブストレージに保存することで、編集を受け付けない保存状態にすることができます。

①移動する映像を選択し、「アーカイブへ移動」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



②アーカイブ映像の移動先設定画面が表示されます。 「アーカイブドライブ」一覧内から保存先を選択し、「OK」ボタンを押下します。 アーカイブストレージに保存を完了します。



#### 【注意点】

・アーカイブストレージの保存先を設定していない場合、アーカイブに保存できません。 「Back-Endアドミニストレーター | でアーカイブストレージの保存先を設定してください。



③詳細検索にて、「アーカイブから検索する」にチェックを入れることでアーカイブに保存した 録画映像を検索できます。

(詳細検索方法は「3.録画映像を見る」の3-2を参照)



#### ▼アーカイブ検索結果



#### 【注意点】

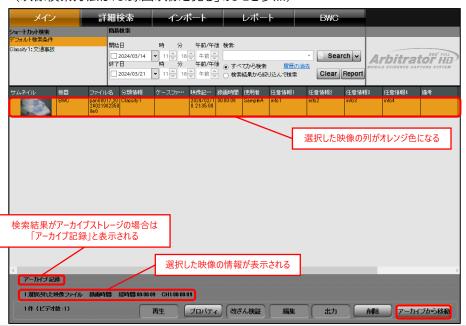
- ・アーカイブに保存した録画映像は以下の操作ができません。
  - 録画映像の再生
  - 録画映像の情報の編集
  - 録画映像の編集
  - 録画映像の保存



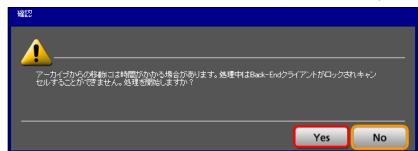
#### <アーカイブに保存した録画映像をライブラリに戻す>

アーカイブストレージに保存した録画映像をライブラリストレージに戻します。

①アーカイブに保存した録画映像を選択し、「アーカイブから移動」ボタンを押下します。 (映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-2を参照)



②確認画面が表示されるので、「Yes」ボタンを押下します。 録画映像をアーカイブストレージからライブストレージへの移動を完了します。





## 8. 録画映像を削除する

### 8-1. Back-Endサーバー内の映像を削除する

Back-Endサーバーのライブラリストレージにある録画映像を削除します。

①削除する録画映像を選択し、「削除」ボタンを押下します。

(映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



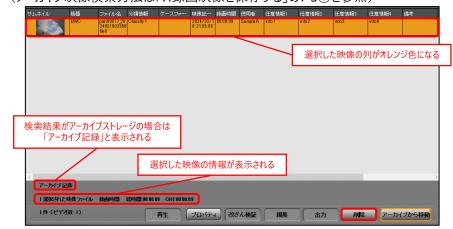
②削除確認画面が表示されるので、「Yes」ボタンを押下します。 録画映像の削除を完了します。



### 8-2. アーカイブ内の映像を削除する

Back-Endサーバーのアーカイブストレージにある録画映像を削除します。

①アーカイブ内の削除する録画映像を選択し、「削除」ボタンを押下します。 (アーカイブ映像検索方法は「7.録画映像を保存する」の7-3③を参照)



②削除確認画面が表示されるので、「Yes」ボタンを押下します。 録画映像の削除を完了します。

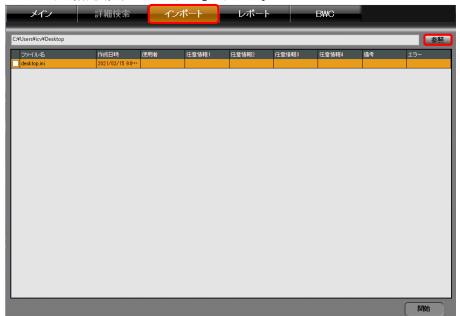




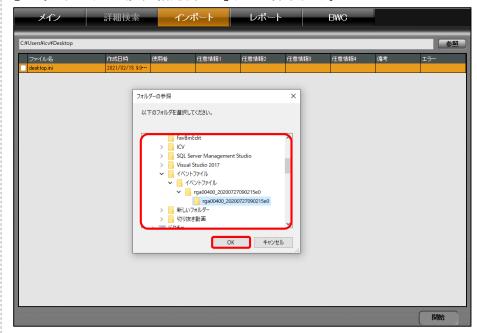
## 9. Back-Endサーバーにデータを登録する

PC内にある任意のファイルをBack-Endサーバーに登録することができます。

- ①「インポート」タブを押下します。
- ②PC内の登録するファイルの場所を指定する場合、「参照」ボタンを押下します。 デフォルトの指定場所は「デスクトップ」になります。



③登録するファイルの場所を指定し、「OK Iボタンを押下します。





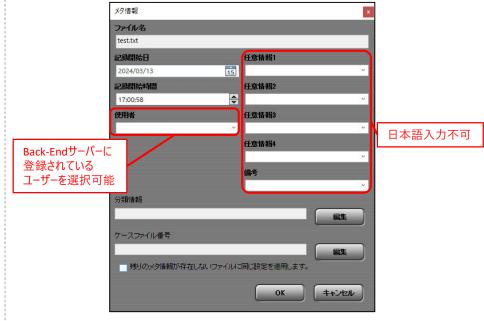
# 9. Back-Endサーバーにデータを登録する

- ④登録できるファイルの一覧が表示されるので、登録するファイルにチェックを入れます。
- ⑤「開始」ボタンを押下します。 BWCで録画した映像ファイルの場合、登録を完了します。



BWCで録画した映像ファイル以外を登録する場合、情報入力画面が表示されます。

⑥「記録開始日」、「記録開始時間」、「使用者」、「任意情報1~4」、「備考」に 任意の情報を入力します。

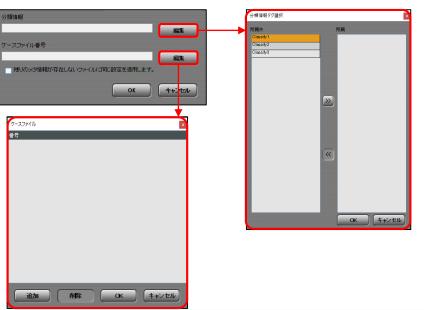




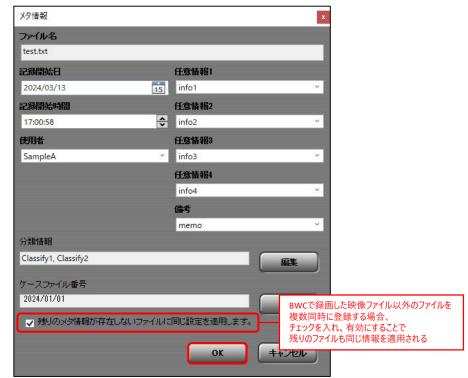
## 9. Back-Endサーバーにデータを登録する

- ⑦分類情報を入力する場合、「分類情報」メニューの「編集」ボタンを押下します。 (入力方法は「5.録画映像の情報を確認する」の5-2を参照)
- ⑧ケースファイル番号を入力する場合、「ケースファイル番号」メニューの「編集」ボタンを押下します。

(入力方法は「5.録画映像の情報を確認する」の5-3を参照)



⑨情報の入力完了後、「OK」ボタンを押下します。登録を完了します。





### 10. 操作履歴を表示する

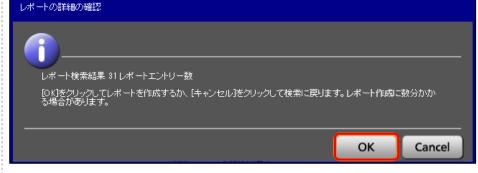
録画映像の操作履歴や設定の変更履歴などを検索し、表示することができます。

①録画映像を指定する場合、任意の映像を選択し、「レポート」タブを押下します。 録画映像を指定しない場合、全ての録画映像が対象になります。

(映像検索方法は「3.録画映像を見る」の3-1~3-3を参照)



- ②日時を指定する場合、開始日・終了日にチェックを入れ指定します。
- ③ユーザー名を指定する場合、「ユーザー名」を選択し任意のユーザーを選択します。
- ④グループ名を指定する場合、「グループ名」を選択し任意のグループを選択します。
- ⑤出力する操作内容にチェックを入れます。
- ⑥「作成」ボタンを押下します。
- (②~⑥の画面操作は次のページに記載)
- ⑦確認画面が表示されるので、「OK」ボタンを押下します。 レポート結果が表示されます。





## 10. 操作履歴を表示する





## 11. 接続したBWCに使用者情報を設定する

### 11-1. 使用者情報を設定する

Back-Endアドミニストレーターにて登録したBWCがリストに表示されます。 任意のBWCの使用者情報を設定することができます。

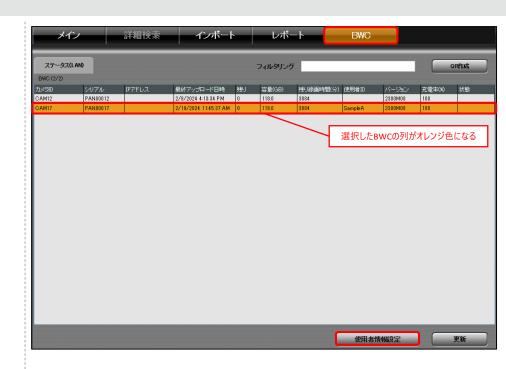
①使用者情報を設定するBWCをドックに挿します。



- ②「BWC |タブを押下します。
- ③登録したBWCのリストが表示されるので、ドックに挿したBWCを選択し、「使用者情報設定」ボタンを押下します。 ドックに挿したBWCがリストに表示されない場合、「Back-Endアドミニストレーター」にてBWCの登録をしてください。

#### 【注意点】

・「BWC4000設定ツール」を起動している場合、使用者情報取得できないため、「BWC4000設定ツール」を閉じてから「使用者情報設定」ボタンを押下してください。





### 11. 接続したBWCに使用者情報を設定する

④「新規の使用者ID」を選択、「オプション」メニューに任意の情報を入力し、「OK」ボタンを押下します。



⑤設定成功画面が表示されるので、「OK」ボタンを押下します。設定を完了します。



#### 11-2. 使用者情報のQRコードを作成する

使用者情報を設定し、QRコードを作成します。

作成したQRコードをBWCで撮影することで、簡単にBWCの使用者情報を変更できます。

- ①「BWC」タブを押下します。
- ②「QR作成」ボタンを押下します。





## 11. 接続したBWCに使用者情報を設定する

③「更新する使用者ID」を選択、「オプション」メニューに任意の情報を入力し、「QR作成」ボタンを押下します。



④QRコードが表示されるので、BWCを「QRコード読込モード」にし、QRコードを撮影すると使用者情報を変更することができます。





### 12. 用語一覧

BWC :i-PRO製ウェアラブルカメラの名称です。

OSD:画面上に時刻情報等の文字を重畳する機能です。

QRコード読込モード:画面上に表示されたQRコードをBWCで読み取り、使用者情報を書き換えるモードです。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

ライブラリ :調査中のイベントデータを格納するフォルダです。閲覧、編集ができます。

ストレージ :イベントデータ等を長期間記憶しておくことためのデバイス(HDD、SSD等)です。

スナップショット:映像の1コマを画像として保存する機能です。

ノイズリダクション :映像に録音されているノイズを除去し、音声を聞きやすくする機能です。

不正ファイル・・アップロードしたイベントファイルに改ざんまたは破損が検出されたファイルです。

ブックマーク・・映像の再生位置を記録する機能です。

分類情報 : 録画データを検索または分類するための識別子です。

メタ情報 : イベントデータに関する詳細データ(記録日、記録時間、使用者、GPS等)です。

揺れ補正:映像の揺れ/歪みを自動的に補正し、見やすくする機能です。

ケースファイル番号:事案等の件名の番号のことです。

同じ件名のイベントファイルに同一の番号を付与すること容易に検索することができます。

### **::i**·PRO

**EII-PRO** © i-PRO | All Rights Reserved.